



山内 晃 議員(自民)

精神保健福祉について

①さまざまな悩みの相談は増加傾向だ。こころの健康相談が、複雑かつ困難な相談をする人の最初の手段だと考えらるが、本区の相談の体制は...

②精神科専門医による相談を希望する人も増加していくと推測する。現状は月1回のペースだが、今後の対応は...

③少しでも自殺を未然に防ぐため、一人でも多くのゲートキーパーを養成できるかが喫緊の課題だ。⑦どのような体制で養成をしているのか...

④今後の計画は。④相談支援機能の強化をソフトとハードの両面からどのように考えていくのか...

⑤地域包括支援で精神障害者の支援に取り組むACIT事業を本区ではどのように考えているのか...

⑥本区がACIT事業に本腰を入れ、実践していくとなると医師の確保はどのように考えていくのか...

⑦医師と保健師、看護師などの多職種アウトリーチチームについて議論をしていくのか...

本会議傍聴 大原小学校



いるのか。今後の展開は。区長 ①各保健センターにおいて保健師28名と心理職2名が地域を担当し...



大倉 考裕 議員(民・改)

生活保護について

①就業可能な現役世代の生活保護受給者の増加は、受給費の支給による財政圧迫や、納税者が減ることによる歳入の減少など深刻な問題を内包している...

②ケースワーカーの負担軽減を目的とした、高齢者を対象とする生活保護受給者のルームシェアを提案する...

③租税と法律は、意識的にも無意識的にも社会生活を営む上ですべての人に関わるものだ...

④エイズは日本全体で患者数が増加しているが、区のエイズに関する相談件数は平成19年度をピークに減少傾向にある...

⑤エイズに関する知識やアンケート調査、区の取り組みを周知するといったコンテンツにより、若年層への予防意識を高めることができるのでは...

本会議傍聴 大原小学校